

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 紀文西日本		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目15番27号	
本票作成	部署名：生産効率課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	水産練製品				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山総社工場		岡山県総社市井尻野700番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	13,682 t CO ₂	15,063 t CO ₂	13,408 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	岡山総社工場	15,063 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 9.7 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		0.854	0.937	0.837
	t CO ₂ /(ton)	t CO ₂ /(ton)	t CO ₂ /(ton)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

今期のエネルギーの使用量を見ますと前年度より増加にあります。この要因としては、前年度と比べて生産重量が約105%と増加しているためである。しかしながら原単位では前年度より1%削減できている。これは設備の保温対策により放熱が抑えられたことと、空調設備のメンテナンスにより負荷が減ったことが効果に現れたと考えます。
 又、設備と生産の関係から蒸気漏れをなかなか修復できない個所がいくつかありましたが、2月初の総点検時に修復したことも少しながら効果に現れたと思われます。この蒸気漏れ修理に関しては、2月に実施したため来期に大きく効果が表れると考えています。

【推進体制】

日々のエネルギー使用量の確認を行い、各生産ラインごとの電気、ガスの使用量を計対比で確認し使用量から、使い方、設備異常など見つけ出し対策を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山総社工場	<p>(29年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none">・加熱設備への保温材取付け2ラインへの設置・事務所空調設備メンテナンス（事務所空調設備算定動作のため）（6月末実施）・空調用設備のチラー循環ポンプ入れ替え（工場内空調設備安定動作のため）（3月末実施）・冷却設備室外機への散水装置見直し（未実施部5台への追加）・蒸気漏れヶ所の修理（2月初実施） <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none">・加熱設備への保温材取付け（前年度の横展開）・室外機への散水装置見直し（散水量の増加、空調室用外機も含む）・老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--